

令和5年度〔学校評価報告書〕

学校名	校長名
川崎小学校	中臣 信丈

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
◎よく考える子(自主的・創造的に考える子ども) ◎思いやりのある子(人間性に満ちた、心豊かな子ども) ◎健康で、たくましい子(健康で、明るくたくましい子ども) ◎やりぬく子(強い意志をもち、最後までやりぬく子ども)	☆いい表情の子を育む☆ 「受容」と「共感」のある集団の中で、児童全員が参加・理解する授業を通して、よき未来の創り手となる「資質・能力」を育む	(1) 資質・能力を育成する主体的・対話的で深い学びの実現 (2) 社会の変化に主体的に対応しながら、よりよく生きる児童の育成 (3) インフルエンザとコロナウイルス感染症への対策を行いながらの安全・安心な学校教育の構築

評価項目	具体的な取組	実現状況及び課題	具体的な改善策
1 思考力・判断力・表現力を育成する授業の充実(学習指導)	納得解を追及する自力解決と集団思考を通して、思考力、判断力、表現力、創造力、そして、人とかかわる力を養う。	12年間に渡って取り組んでいる「主体的・対話的で深い学びを通して資質・能力を育成する教育」について、共通性と一貫性のある取組を全職員で協力しながら積み重ねることができている。この取組を今後もしっかりと続けていけるよう授業研究会を充実させていく。	授業力を磨くために、授業研究会(年6回実施)の内容を充実させ、お互いに指導し合える場面を重視していきたい。本校の授業研究会には県外からも多くの視察者が参加しており、その方々からもご意見をいただくことで思考力・判断力・表現力を育成できる授業力を向上させていく。
2 基礎的な力の定着を図る(学習指導)	全員参加(全員挙手)を目指す主体的に学ぶ授業を通して、基礎的、基本的な知識・技能の習得を図る。	全員参加(全員挙手)すること、は、「全員でよくなるということが大切」という価値観を共有していることであり、その姿勢が基礎的な力の定着に繋がっている。しかし、外国に繋がる児童の中には、日本語の読み・書きが出来ない児童がいるため、その児童たちへの支援が必要である。	日本語の読み・書きが出来ない児童への対応としては、国際教室、通級指導教室、そして、家庭との連携強化を図っていく。特に家庭に対しては、「家庭学習の在り方」についてご理解をいただき、保護者と共に基礎的な力の定着に向けての対応策を検討・実践する。
3 規範意識を持ち、自分たちで話し合い、生活を向上させる(児童指導)	生活の諸問題を話し合い、折り合いをつけ解決して、自分たちで集団の規範をつくり、よりよい学校生活を目指す。	昨年度に続き6年生が川小の良さをポスター8枚にまとめ、150周年記念式典において発表会を行った。本校が「学校の良さや課題を学校・学級全体の良さや課題として児童自らが取り上げ、みんなで最善の学校を目指す学校であること」を共通理解できた。この取組を今年度も継続していくことが重要である。	学級・学校の望ましい規範や風土ができるような、対話と相互作用を活性化させる指導を、さらに充実させていけるように研修と研究に取り組んでいく。そして、各クラスや各学年の取組は、朝会を通して全校に発信していく。
4 受容的な学級の雰囲気づくり(児童指導)	個人差を受け入れ、失敗や間違いがあっても責められず、どの子どもも安心してのびのびと過ごせる受容的な学級の雰囲気をつくる。	全児童数の約20%を占める外国に繋がる児童や支援を要する児童が、あたたかい学級集団の中で社会性を育ていける教育を大切にしている。全員でよくなるということが大切という価値観を児童と職員が共有することで、さらにあたたかく受容的な学級集団の育成を目指したい。	大学教授を招いての授業研究を通して、授業力と児童指導力のスキルアップに取り組み、差別等のない、受容的で共感的な集団づくりをさらに推進していく。そして、一人一人の個性が受け入れられ、伸ばしていける教育を実現する。
5 学習や生活にふさわしい環境作り(教育環境整備)	安全で衛生的で、活用しやすく過ごしやすい教室・学校の環境づくりに努める。	ユニバーサルデザインを意識した教室の整理・整頓に児童や教職員が意識して取り組むようになってきている。さらに今後も、教師の意識化を継続的に図り、全校全体でよりよい環境づくりに努める必要性を感じる。	目指すべき環境のイメージを学校全体で共有し、全教職員と一人一人の児童自らが意識してよりよい環境作りをしていける取り組みを継続していく。
6 教育相談の充実(保健管理)	悩みや心配なことがあるとき、気軽に相談できる体制を機能させる。	担任、Co、養護教諭、国際教室教諭等の連携により、悩みや心配事を子供達は積極的に教師に相談できるようになってきている。しかし、様々な理由で相談出来ない児童もいるので全児童が気軽に相談できる体制を目指していく。	児童の個人差を把握するとともに、個に対応した働きかけを通して児童とのかかわりを深め、児童が相談しやすい教師になる努力をして、教育相談・個別への対応を充実させていく。
7 望ましい集団活動を通しての自主的、実践的な態度の育成(学習指導・児童指導)	主体的に各行事・活動に取り組むことができるように意識化を図ったり、実践させたりして、自主的・実践的な態度を養う。	「学校生活は自分達でつくっていく」ことをねらいとして学年行事を設定し、実行委員会を中心にやり遂げていく取り組みが定着している。令和2年から始まった『児童がつくりあげる運動会』が成功を収めている経験をお手本にしながら、全学年が実行委員活動の充実を図っていく事が大切である。	全学年を通して、自分達で学校生活や学級の生活をよりよくしていく体験を積み重ねていくことで、主体的に物事にかかわり、自分達の生活をよりよくしていくことができる能力と態度を培っていく。
8 自ら運動に親しみ、体力を向上させようとする態度(学習指導・児童指導)	自ら体力を向上させることを意識させる取り組みを通して、進んで体力を向上させようとする態度を養う。	大型遊具が寄贈されたことで、中休みには校庭での遊びを通して体力を向上させる機会が著しく増加した。楽しく体を動かすことを通して、体力向上に向けての意識化を図り、逞しい子ども達を育てていくことが大切である。	コロナ禍から開放されたことで、今まで以上に体力向上への意識化と日常化を図るための新たな取組を探り、それを実行し、自ら運動に親しみ、体力を向上させようとする態度を育てていく。
9 学校事故防止と安全対策(安全管理)	安全配慮義務を第一義として、児童の安全に関する指導と環境づくりに努める。	学校の最重要課題は安全であるという認識を全ての教職員がもって教育活動を実践することができている。インフルエンザやコロナ対応を含む現在の取り組みを新たな視点から見直し、児童や教師に安全を意識する態度さらに高めていく必要がある。	安全や危機管理に関する情報共有を素早く行い、状況に応じた迅速で、柔軟な対応が確実にできる体制を目指していくと共に、教職員の意識を常に高めていく働きかけを工夫する。
10 教育活動の重点についての理解度(組織運営)	対話による相互作用を大切にしたい主体的・対話的で深い学びを實踐して、これからの時代に必要な資質・能力を育成していることを周知したい。	主体的・対話的で深い学びを通して「これからの時代に必要な資質・能力を育成する実践」が、児童や保護者、地域に広く理解されてきている。その取り組みに加え、「個別最適な学びと協働的な学び」という新たな教育課題に実践的に取り組む必要がある。	「主体的・対話的で深い学び」と「個別最適な学びと協働的な学び」によって、これからの時代に必要な資質・能力を育成していくことの重要性を教職員が研究と研修を通してしっかりと理解できるよう綿密な研究・研修計画を立て、実践を深めていく。

学校関係者の評価	今年度のまとめ・次年度へ向けて
学校評価の結果からみると、学校の経営方針を保護者や地域の方々にともしっかりと理解していただき、学校への協力体制がしっかりと整っていると言える。学校便りの内容を、子どもの活動や子どもの考えを中心にしたものにしていくことで、学校経営方針がしっかりと伝わっていると考えている。創立150周年式典や児童が創り上げた運動会、及び、学校教育推進会議に参加した地域協力者からは、学校教育目標である「いい表情の子」が育まれているとの感想をいただいている。	学校を取り巻く様々な状況を踏まえながら、学校評価の項目を検討してアンケートを実施した。一昨年度、昨年度に引き続き、保護者や地域の方、また、児童からの評価は、概ねどの項目も良かった。「学校の教育活動の重点について、保護者として理解していると思いますか。」の問いに対しては、約90%の保護者が「理解している」と答えており、これは大変良い数字であるとともに、学校に対する評価としての現れだと考えている。また、この4年間、学校への要望等は殆どなく、非常に安定した学校経営を行うことができている。しかし、コロナの終息と共に、外国に繋がる児童の転入・入学が急増し、全校児童に占める割合は来年度20パーセントを超える。来年度以降もこの傾向が続くと考えられるため、「外国に繋がる児童」が幸せな学校生活を送れるように年度初めにしっかりと児童についての理解を図るとともに、他機関との連携も強化しながら、全ての児童にとってより良い教育活動をつくり出せる学校経営に努めていく。PTA役員については、創立150周年行事において、非常に協力的な態度で学校運営に関わっていただいた。この数年間、PTA役員とともに組織や活動について抜本的に考え直す作業を現在進めており、さらによりよい改善、改革を引き続き探していきたい。